

令和5年10月22日執行  
宮城県議会議員一般選挙

# 選挙公報

石巻・牡鹿選挙区  
宮城県選挙管理委員会

## モチューの“地方再生”論

待ったなしの“子育て支援”

県庁の移転  
〔例えば県下第2・第3都市の中間、小牛田とか〕

あるものを生かしきれず 無いものを求めきれずが石巻の現状  
仙台一極集中の是正  
「地方消滅の危機」

このままでは、学校の統廃合は必定!!  
即、地域の衰退へと!!

小手先の合併・広域連携では、もはや対応しきれぬ危険水域

何よりも

**企業誘致**

働く場所の確保

よって

**若者の定住策**

そして

**子育て環境の充実**



もと  
き  
ちゅう  
いち

# 本木忠一

66歳

『都市・農漁村共生社会』を真剣に議論すべき時—!!

略歴

- 昭和24年住吉町生まれ
- 石巻高等学校卒業
- 石巻市議会議員(3期)
- 宮城県議会議員(4期)
- 石巻女子高校PTA会長

現在の役職

- 保護司
- 宮城県ポト協会顧問
- 石巻種類料理組合組合長
- 石巻絆道協会会長



佐々木きぞうだから、わかる、できる。  
継続は力なり—私にやらせて下さい!

物価高対策に全力!!

大切に考えます、  
1本のダイコンも。  
1リッターのガソリンも。  
きぞうは全力で地元の味方!!

- 暮らしの安全保障**  
ガソリン補助金、電気・ガス・食料などの価格高騰の緩和、地域実情へきめ細かな生活支援
- 地域経済の発展**  
中小企業、小規模事業者の事業継続、労務費の確保
- 食料安全保障の確立**  
森林資源、水産資源の適切なる管理とニーズ対応、生産、加工、流通、販売の強化促進

安心・安全な暮らしの実現



自由民主党公認

# 佐々木きぞう

強引な村井知事にキツパリとモノを言う  
県議が石巻・女川に必要です。

- 重点公約
- 学校給食の無料化と子育て支援
  - 物価高騰対策・電気代の県独自の補助を
  - 海洋放出・女川原発再稼働ストップ
  - 農林水産業は宮城の宝、後継者対策に全力
  - 復興住宅家賃据え置き
  - ジェンダー平等の社会を
  - 4病院の再編統合白紙撤回を

宮城県の財政力は東北一の1兆円。石巻県域を元気にするために、農林水産・中小企業へテコ入れ、若者の仕事確保が急務です。

住民のために信念貫く

私は3期12年、どんな時にも信念貫き、石巻・女川の声を届け、知事に対してズバリ物を言ってます。今、村井知事の強引な姿勢に批判が沸き起こっています。何でも賛成でなく、県民の声が届く県議会に変えるため引き続きがんばります。激戦です、どうか押し上げて下さい。

三浦一敏プロフィール

旧桃生町出身、昭和25年5月15日生れ(73歳)。石巻工業高校電気科卒(4回生)。石巻市議7期、県議3期。現在、農林水産委員。党県議団団長。石巻水押し在、家族は妻。趣味：ゴルフ・スポーツ観戦

三浦一敏ホームページ




市民連合@みやぎ 推せん

# 三浦一敏

みづら かずとし

日本共産党

岸田政権ノー暮らしの願いをしっかりと県政へ

令和5年10月22日執行  
宮城県議会議員一般選挙

# 選挙公報

石巻・牡鹿選挙区  
宮城県選挙管理委員会

## 世代交代 石巻市 女川町 に 維新の風を!!



さとう  
ゆういち

### ①地域経済の活性化

- 石巻新庄道路ほか、道路整備を推進（県道238号釜谷大須雄勝線の尾ノ崎～名振間、県道151号河南南郷線の軽井沢バイパス等）
- 中小企業・小規模事業者への経営支援、起業を目指す人へのベンチャー支援を強化
- 新規就農者へ経営支援、移住支援
- 地場農産物、水産物の消費拡大
- 鳥獣被害対策
- 県立自然公園旭山の活用、再整備

### ②安心・安全

- 地域公共交通への支援の拡充
- 消防団に対する支援強化（装備・団員確保など）
- 防災・減災対策として、新しい技術の導入
- 防災訓練の充実や防災士等の人材養成
- コロナワクチンの副反応による健康被害を受けた方の救済と実態調査を提言

### ③子育て支援・教育対策

- 授業料、給食費の無償化
- 乳幼児医療費助成制度の充実強化
- 学校施設や通学路の安全対策
- 学力向上対策と地域間格差の解消
- 不登校、ひきこもり対策
- 防災教育の充実
- 被災地研修の教育旅行の誘致  
・・・など、目指してまいります。

日本維新の会 公認

昭和54年9月1日生まれ 44歳 家族 祖母、父、母  
石巻市（旧・河南町北村）在住 資格 中型自動車免許（MT）  
日本大学法学部政治経済学科卒業 大型自動車二輪免許  
元・石巻市議会議員（3期） 2級小型船舶免許  
衆議院議員秘書を経験の後、石巻市議補欠選挙で初当選（2017年）、その後3期連続当選。常任委員会の委員長、副委員長の他、宮城県後期高齢者医療広域連合議会、水道企業団議会、広域行政事務組合議会の議員を務めた。

時代に適さないものは改め、つながり・ささえあう。笑顔のまちづくりを実現するために動きます！

【くらし】様々な困り感や負担を軽減していくための支援に取り組みます。

#### 【産業の振興】

- 1、農業・水産業の生産性や収益性の向上、担い手の確保・育成などを促進します。
- 2、温暖化による農業・水産業への影響と問題点について、研究機関と連携した創出に取り組みます。

【教育】教員の多忙化解消を図り、いじめ、不登校等山積する課題を解決する学校教育を推進します。

#### 【防災対策・社会基盤】

- 1、地震津波対策、激甚化する風水害や土砂災害対策の強化を図ります。また、女川原子力発電所の安全対策の強化を図ります。
- 2、環境と経済が両立した豊かな暮らしの実現を目指します。

【子育て・医療】出産・子育てを応援し、安心して子育てができる環境整備や地域医療の充実を目指します。

【福祉・介護】高齢者が安心して暮らせる社会を目指し、地域包括ケアシステムの確立や移動手段を確保しサービスの向上を図ります。

【観光】牡鹿半島地域・女川や雄勝地域など、魅力ある地域資源を活用した観光交流の拡大・促進します。また、付加価値の高い水産物、水産加工品や農産物を活かした観光振興を促進します。

#### ◆プロフィール

【年齢】59歳 【学歴】国立千葉大学 園芸学部園芸学科卒業 【主な勤務歴】河南高校、南郷高校、石巻北高校、小牛田農林高校、宮城県庁産業経済部食産業・商業振興課(主に環境保全型農業、食材王国みやぎ担当) 【社会活動】NPO法人TEDIC石巻圏域子ども若者総合相談センター相談員（8月末まで）石巻市須江「火力発電所から地域の環境と暮らしを守る会」代表

# 挑戦

誠実・実行  
生活を守る



はし  
うら  
清紀  
きよのり

## 新時代「みやぎ」の創造

「安心して暮らせる みやぎをつくるために」

### 災害対策の徹底

- ・あらゆる災害に対応する危機管理マニュアルの作成および点検
- ・津波や原発事故など有事に備えた避難計画や避難道路の整備

### 人口減少・少子化対策

- ・首都圏からの移住・定住施策を推進するため空き家など活用した住宅施策の推進
- ・不妊治療・出産への助成や支援の充実
- ・子ども医療費の助成対象の拡大や医療ケア児・発達障害などの支援と相談体制整備など子育て支援策の推進

### 教育の充実

- ・子どもたちの学力向上対策の強化
- ・いじめや不登校児童への相談体制の充実と対策強化

### グローバル化に対応した社会の構築

- ・石巻への日本語学校誘致促進
- ・英語教育の充実

### 地域経済の活性化

- ・ものづくり・IT産業の振興
- ・中小・零細企業への支援と事業継承者発掘の取り組み強化

### 保健・医療・福祉の充実

- ・県全体における感染症対策及び予防対策の推進
- ・認知症の予防及び早期発見・地域包括ケア体制の充実

### 農林水産業の振興

- ・飼料や資材など価格高騰に対する助成及び支援の強化
- ・福島第一原発の処理水海洋放出に関してそれに代わる処分方法の確立及び放射性物質除去技術の開発促進を国及び東電に求め風評被害対策を強化

### 公共インフラ及び公共交通の整備

- ・県道釜谷・大須・雄勝線はじめ狭隘な国県道の整備
- ・仙石線、仙石東北ライン、石巻線の所要時間の短縮など利便性の向上及び利用者の増加対策の強化

### プロフィール

昭和37年2月1日生まれ（61歳）  
石巻中、仙台育英学園高、東海大学卒業  
横浜市、仙台市でサラリーマン生活を送る  
父、故坂下清賢県議秘書を経て平成11年  
県議初当選、現在6期目

### 現在の主な役職

- ・立憲民主党宮城県連副代表
- ・宮城県鉄道整備促進期成同盟会理事
- ・石巻港整備、利用促進期成同盟会顧問
- ・文教警察常任委員会委員
- ・人口減少、人材育成調査特別委員会委員



SDGs 誰ひとり取り残さない  
持続可能な社会の実現へ



立憲民主党 公認  
坂下 賢けん

賢けん